出雲市定住自立圏共生ビジョン

〔令和２年度～令和６年度〕

令和２年（2020）３月１７日策定

〔令和４年（2022）３月２５日変更〕

島根県出雲市

目　　次

１　定住自立圏及び市町村の名称・・　１
⑴　定住自立圏の名称・・　１
⑵　圏域の区域・・・　１
２　定住自立圏の将来像・・　１
３　定住自立圏共生ビジョンの期間・・　３
４　定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
⑴　生活機能の強化に係る政策分野・・・　４
ア　医療・・　４
イ　福祉・・　６
ウ　教育・・１３
エ　産業振興・・・２１
オ　ライフラインの整備・・３６
⑵　結びつきやネットワークの強化に係る政策分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
ア　地域公共交通・・・３８
イ　デジタル・デバイドの解消に向けたＩＣＴインフラ整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
ウ　道路等の交通インフラ整備・・４２
エ　地域の生産者や消費者等の連携による地産地消・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
オ　地域内外の住民との交流・移住促進・・４８
⑶　圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
ア　宣言中心市等における人材の育成・・５２
イ　その他・・５６
５　共生ビジョン事業一覧・・・５７
６　重要業績評価指標（ＫＰＩ）一覧・・６０
７　資料・・６２

出雲市定住自立圏共生ビジョン

１　定住自立圏及び市町村の名称

⑴　定住自立圏の名称

出雲市定住自立圏

⑵　圏域の区域

出雲市（出雲地域、平田地域、佐田地域、多伎地域、湖陵地域、大社地域、斐川地域）

２　定住自立圏の将来像

【圏域の状況】

当圏域は、島根県の東部に位置し、北部は島根半島、中央部は肥沃な出雲平野、南部は中国山地で構成され、古くから「神話の國」として知られた地域である。

中国山地に連なる南部の森林に湛えられた水は、斐伊川と神戸川という山陰有数の二大河川により平野をつくり、宍道湖、神西湖や日本海に注ぎ、豊かな汽水域、豊かな海を育んでいる。また、肥沃な平野部では、農業をはじめ様々な産業が形成され、この圏域は、自然の恵み、地の利を享受する地域共同体をなしている。

このように、当圏域を構成する旧出雲市、旧平田市、旧佐田町、旧多伎町、旧湖陵町、旧大社町、旧斐川町は、「神話の國出雲」として、古くから強い結びつきを持ち、共通の歴史的、文化的風土にあって、通勤、通学、買い物といった住民の日常生活圏は、合併以前から行政区域を越えて一体化が進んでいた。また、この圏域には、複数の工業団地があり、誘致企業を中心に製造業の集積が進むとともに、島根大学医学部附属病院や島根県立中央病院など、県内有数の高度医療機関群があるほか、出雲ドーム、出雲弥生の森博物館、荒神谷博物館といったスポーツ、文化施設や民間の大規模商業施設も集積するなど、都市機能の充実が図られ、文化的、経済的基盤を共有する中で、平成１７年３月２２日に出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町が新設合併して新しい出雲市が誕生し、さらに、平成２３年１０月１日に斐川町を編入合併し、現在に至っている。

合併後は、それぞれの地域を結び、総合力を高め、都市としての自立的な発展を促す一方、質の高い生活環境の実現に向け、活気に満ちた豊かなまちづくりに取り組んでいるところである。

【圏域の将来像】

わが国では、少子高齢化が急速に進展した結果、平成２０年（２００８）をピークに総人口が減少に転じており、人口減少時代を迎えている。

一方、当圏域においては、平成１２年（２０００）の１７３，７７６人をピークに人口減少に転じていたが、外国人の急激な転入増加による影響もあり、平成２７年（２０１５）の国勢調査において再び増加に転じている。

本市人口の年齢別構成比を見ると、昭和６０年（１９８５）と平成１７年（２０１５）の３０年間で年少人口は３５％（約１万３，０００人）減少する一方、高齢者人口は２倍超（約２万６，０００人）増加し、全国的な傾向と同様に少子高齢化が急速に進んでいる。少子高齢化と人口減少の一段の進行は、圏域全体の著しい活力低下を招くものであり、人口減少を抑制し、一定の人口規模を維持していくことは喫緊の課題となっている。

このため、移住・定住の促進と交流人口の拡大により大都市圏から当圏域への人の流れを創出することで、地域経済の活性化を図るとともに、住民が安全安心に暮らせる持続可能な地域社会を創っていくことが急務となっている。

このような中、山陰自動車道の整備が進むとともに、中国横断自動車道（尾道松江線）が開通し、山陰と山陽を結ぶ拠点都市としての機能発揮が期待されるとともに、出雲縁結び空港を起点とした三大都市圏や東アジア地域との交流拡大も期待されている。また、当圏域は、日本海、宍道湖、神西湖、斐伊川、神戸川、緑豊かな山々、肥沃な出雲平野など自然環境に恵まれ、さらに出雲大社をはじめとする数多くの魅力ある歴史・文化遺産を有している。これらは日本有数の観光資源であり、その活用により一層の交流人口の拡大が期待される。

当圏域では、旧出雲市の用途地域を中心とした地域を中核都市拠点と位置づけ、出雲市の顔として、人が集い賑わう都市空間の形成に努めるとともに、旧平田市は東部都市拠点、旧大社町は観光都市拠点、旧斐川町は産業都市拠点とし、それぞれの都市づくりの拠点として位置付けている。また、海岸部を海と緑を生かした地域力増進ゾーン、山間部を水と緑を生かした地域力増進ゾーンとし、それぞれの特性を生かしながら、地域住民の生活に必要な機能の充実に取り組むこととしている。

今後も、一定の産業集積と良好な住宅環境が形成された中心地域の機能と、それに隣接する周辺地域の機能の有機的な連携を図り、「定住」のための暮らしに必要な諸機能を確保すると同時に、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、将来にわたって持続可能な地域を創りあげていく必要がある。そのため、圏域全体の生活機能やネットワークを強化し、圏域全体の総合力を高めることにより、「日本海側の発展をリードする元気な地方都市」をめざすものである。

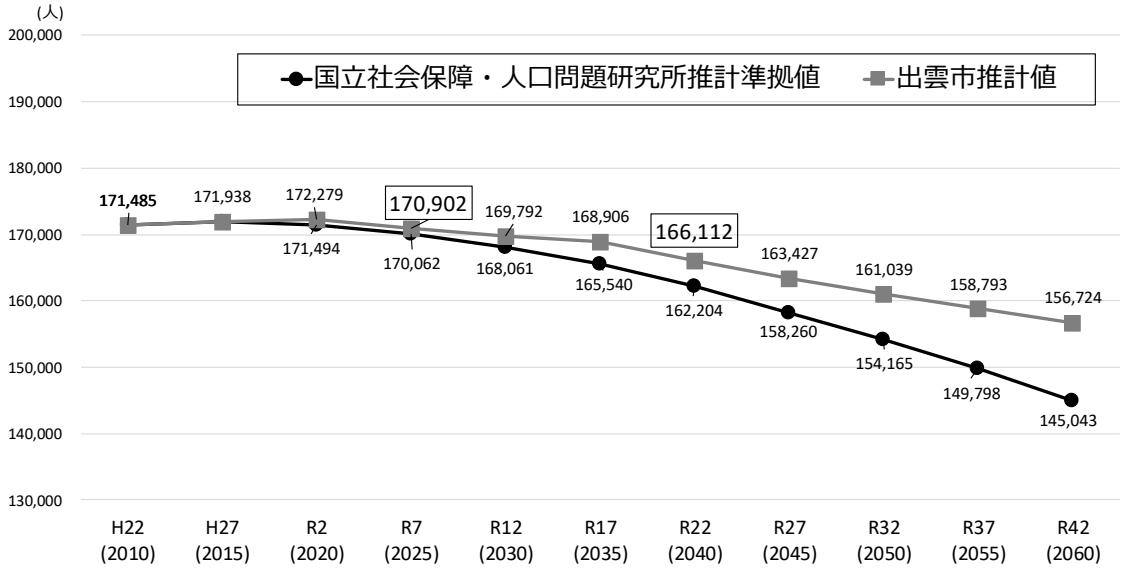
【圏域の人口目標】

圏域の中長期的な人口目標を、次のとおり設定する。

区　分	平成 27 年(2015) （実績）	令和 7 年(2025) （目標・推計値）	令和 22 年(2040) （目標・推計値）
人 口（国勢調査）	１７１，９３８ 人	１７０，０００ 人	１６６，０００人

※令和７年（2025）及び令和 22 年（2040）の目標値は、出雲市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」の推計結果に基づく。

〔参考〕圏域の人口推計（平成 22 年及び平成 27 年は国勢調査に基づく実績値）



３　定住自立圏共生ビジョンの期間

令和２年度から同６年度までの５年間とする。

ただし、毎年度所要の変更を行うものとする。

４　定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組

⑴　生活機能の強化に係る政策分野

ア　医療

地域中核病院である島根県立中央病院等の機能強化を促進するとともに、病院、診療所及び関係医療機関の連携体制を一層強化し、圏域が有する医療資源が効率的に運用される地域医療体制の充実を図る。

【形成方針】

（ア）地域医療体制の充実

【取組内容】

中核的な医療機能を有する公的２病院（島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院をいう。以下同じ。）と、平田地域にある出雲市立総合医療センターなど周辺地域の病院・診療所、休日・平日夜間の１次救急や僻地等で医療提供を行う市立診療所との連携を推進する。

また、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができるよう、医療と介護、介護予防、生活支援などを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けて、在宅医療を推進するなど、圏域内で完結する地域医療体制の充実を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、公的２病院が特定機能病院、救命救急センターとして機能し、高度な医療や先進的な専門医療、３次救急医療を提供するとともに、市立休日・夜間診療所において休日・平日夜間の１次救急医療を提供する。

また、医療資源の少ない周辺地域の医療及び介護サービスと連携し、地域医療体制を支える。

○　出雲地域以外の地域では、出雲地域の医療及び介護サービスとも連携しながら、訪問診療や訪問看護、介護サービスなど在宅医療の提供体制を整え、住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる医療提供体制を構築する。

【具体的な事業】

事業名	診療所事業			関係地域名	全地域	
事業概要	休日の内科、小児科や、平日夜間の小児科といった初期救急を担う診療所や、いわゆる医療過疎地域に所在する診療所を運営する。					
成　果	救急救命を担う中核病院への軽症患者の受診抑制を行うとともに、いわゆる医療過疎地域に所在する診療所については、出雲地域に存立する公的病院等からの医師派遣等の診療支援を行うことで医療体制を確保し、圏域住民が安心して健康に暮らせる地域社会に貢献していく。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	85,522	87,808	85,957	84,298	84,141	427,726
国県補助事業等の名称、補助率等	へき地医療対策費補助金（２／３）					

事業名	市立総合医療センター			関係地域名	全地域	
事業概要	出雲医療圏の１次、２次救急医療を担う。					
成　果	医療連携体制により、公的２病院（出雲地域）での急性期処置後の患者を市立総合医療センター（平田地域）において受け入れ、機能回復リハビリを行う等切れ目のない医療を実施する。また、健診事業を充実させることで、疾病予防の効果が期待される。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	3,188,000	3,328,000	3,265,000	3,283,000	3,306,000	16,370,000
国県補助事業等の名称、補助率等	（注）事業費については、病院事業３条予算（収益的支出）である。					

イ　福祉

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」・「受け手」という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源などがつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会づくりを通して、だれもが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう地域福祉の充実を図る。

また、安心して子育てができるような地域社会を築くために、多様な保育ニーズに対応した保育体制の構築に努めるとともに、地域社会との協働による子育て支援体制の充実を図る。

【形成方針】

（ア）高齢者福祉の推進

【取組内容】

高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、家庭や地域で自立して生活できることを目標に、高齢者の生活機能の自立を支援していくとともに、健康づくり、生きがいづくり、地域の福祉コミュニティの形成等を進めていく。

また、身近な地域における介護サービス基盤の整備、相談支援体制の構築、医療と介護の連携、認知症ケアの体制づくり等の取組を進める。

【役割分担】

○　出雲地域においては、出雲高齢者あんしん支援センター、出雲市社会福祉協議会、出雲医師会、大学、ＮＰＯ等の関係機関と連携を深めながら、高齢者を支える仕組みを充実させる。

○　出雲地域以外の地域においても、出雲地域と同様に関係機関との連携を深める。また、高齢化が進んでいる地域においては、地域住民による相互支援の体制づくりにより一層努め、高齢者を支える仕組みを充実させる。

【具体的な事業】

事業名	シルバー人材センター運営費補助		関係地域名	全地域		
事業概要	公益社団法人出雲市シルバー人材センターに対し補助金を交付する。					
成　果	高齢者の知識・経験を生かし、就業の場の提供や能力開発のための研修会を開催することにより、高齢者の生きがいづくり、医療費、介護費の負担軽減につながる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	13,336	13,336	13,336	13,336	13,336	66,680
国県補助事業等の名称、補助率等						

事業名	高齢者クラブ連合会活動促進事業		関係地域名	全地域		
事業概要	高齢者の生きがいづくりと福祉の向上を図るため、高齢者クラブ連合会によるボランティア活動、介護予防・健康増進活動、交流事業等に対し活動補助を行う。					
成　果	高齢者クラブの主体的な介護予防・健康増進事業や地域の見守り活動等を推進することにより、地域活性化につながる。 高齢者クラブ連合会を核として、各地域に所在するクラブとの定期的な会合を通して、情報交換、研修等を行う。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	90,500
国県補助事業等の名称、補助率等	島根県在宅福祉事業費補助金（県２／３）					

【形成方針】

（イ）障がい者福祉サービスの充実

【取組内容】

障がい者が地域で暮らしていくうえで自立した生活を支援するため、身近な場所で様々な相談や情報提供ができる相談支援体制の強化・充実を図り、障がい者本人、家族及び介護者が安心して暮らしていける環境を整備する。また、障がい者施策推進協議会において、相談支援体制をはじめ地域の抱える課題解決へのアプローチを行い、利用者主体の質の高い障がい福祉サービス提供体制の整備を進め、障がい者を地域全体で支える地域共生社会実現に向けたシステムの構築を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、９か所の委託相談支援事業所の多くが集まっていることから、これらと指定特定相談支援事業所、指定障がい児相談支援事業所、障がい福祉サービス提供事業所等との連携を深め、安心して地域生活を送ることができるよう、きめ細やかな支援体制の充実を図る。

また、障がい者施策推進協議会の取組により、地域課題の改善を図り、地域の支援体制を強化していく。

○　出雲地域以外の地域においては、地域にある委託相談支援事業所及び指定特定相談支援事業所において、出雲地域内の委託相談支援事業所との連携を密にし、障がい福祉サービス提供事業所と協働して支援体制の充実を図る。

また、各地域の課題解決を図るため、障がい者施策推進協議会への情報提供体制を強化していく。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">障がい者相談支援事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">障がい者等が、障がい福祉サービスその他のサービスを利用しつつ、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題に対し、障がい者等、障がい児の保護者又は障がい者の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言、障がい者等に対する虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整、その他の障がい者等の権利擁護のために必要な援助を行う。
また、障がい者施策推進協議会の取組により、地域課題の改善を図り、地域の支援体制を強化していく。
具体には、島根県から「指定一般相談支援事業所」の指定を受けた事業所及び本市から「指定特定相談支援事業所」又は「指定障がい児相談支援事業所」の指定を受けた事業所の中から身体・知的・精神の各障がい者等の支援について、専門的識見を有し、かつ市の障がい福祉拠点として業務遂行が期待できる事業所に対し業務委託する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">委託相談支援事業所が、アウトリーチにより積極的な訪問相談を心がけ、障がい者等の自立を支援する。
出雲地域５事業所、平田地域１事業所、湖陵地域１事業所及び斐川地域２事業所のネットワークにより、情報交換を行い、障がい特性に応じた適切な相談支援を実施し、障がい者等の安定した地域生活に寄与する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>70,300</td><td>70,300</td><td>70,300</td><td>70,300</td><td>70,300</td><td>351,500</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">【市町村相談支援機能強化事業部分】
地域生活支援事業費等補助金（国１／２）（県１／４）</td></tr>
</table>

【形成方針】

（ウ）子育て支援体制の充実

【取組内容】

保育所及び幼稚園、小学校、中学校、関係機関が相互に連携し、一人ひとりの子どもの育ちを総合的・継続的に支援する体制づくりを推進する。また、家庭・学校・地域・関係機関等地域社会の構成員がお互いに関心をもち、子どもの幸せを第一に考えた社会の仕組みづくりを進める。

【役割分担】

○　出雲地域及び平田地域においては、子育て支援センターを中心として子育て等の情報発信に努めるとともに、子育てサークル等への支援を行う。また、ファミリーサポートセンター事業については、それぞれの地域のみならず、他地域の会員の拡大に努める。さらに、保育所では待機児童が発生しないよう、受入枠の増加を図るほか、休日保育等の充実を図る。

○　斐川地域においては、子育て支援センターを中心として子育て等の情報発信や相談などの子育て支援を行う。また、ファミリーサポートセンター事業については、斐川地域のみならず、他地域の会員の拡大に努める。さらに、保育所では待機児童が発生しないよう、受入枠の増加を図るほか、子育て支援体制の充実を図る。

○　出雲地域、平田地域、斐川地域以外の地域においては、子育て支援センターについて、保育所との接点や出雲地域、平田地域及び斐川地域の子育て支援センターとの連絡・連携を強化する。また、保育所では待機児童が発生しないよう受入枠の増加を図り、子育て支援体制の充実を図る。

【具体的な事業】

事業名	子育て支援センター運営事業			関係地域名	全地域	
事業概要	子育て支援の拠点施設として、子どもたちが健やかに喜びを持って成長できるよう、親子の遊びの場を提供するとともに、子育てに対する不安の解消のため、相談に応じたり、子育てに関する情報を提供する。出雲地域４か所、平田地域１か所、斐川地域１か所、その他の地域４か所の計１０か所で実施する。					
成　果	地域における子育て機能の低下を背景として、子育て家庭の孤立化が進む中、子育てに対する不安等の解消が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	50,275	50,183	50,183	50,275	50,183	251,099
国県補助事業等の名称、補助率等	子ども・子育て支援交付金（国１／３、県１／３）ほか					

事業名	ファミリーサポートセンター運営事業			関係地域名	全地域	
事業概要	既存の保育施設で対応できない変動的・変則的な保育需要に対応するため、子どもを預けたい人と預かる人をあらかじめ登録しておき、用事などで一時的に子どもを預けたいときに預かる人とのコーディネートを行う。 出雲地域に所在する本部と平田地域・斐川地域に所在する支部との連携により、定期的な会合を通して、情報交換・研修等を実施する。					
成　果	一時的な保育需要に対応することにより、仕事と家庭の両立が実現し、子育て支援に資する。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	14,880	14,652	14,805	14,727	14,805	73,869
国県補助事業等の名称、補助率等	子ども・子育て支援交付金（国１／３、県１／３）					

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">認可保育所施設整備費補助</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">本圏域では、出雲地域にある市立中央保育所・幼稚園が「障がい児保育等の養育困難ケースへの対応、保育学習、保育体験を通した人材育成の中心的役割」及び「幼保一元化施設としての先進的役割」を担い、中核施設としての機能を確保し、他の保育所との連携・役割分担の下、圏域全体で総合的、一体的に各種保育サービスを提供している。
児童の安全確保、待機児童の解消及び特別保育事業の推進を図るため、老朽化、狭隘化した保育所施設を年次的計画的に整備する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">地域の実情に応じて、保育所の増改築や改修を実施することにより、保育環境の充実が図られる。
核家族化や共働きの家庭の増加に伴い保育ニーズが多様化する中、保育所同士の連携・協力で、圏域全体の保育水準を向上させることができ、保育ニーズに合った保育体制の構築が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>329,071</td><td>116,648</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">保育所等整備交付金（国２／３、市１／１２）ほか</td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
子育て支援センター利用者数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	66,090 人日	54,000 人日
ファミリーサポートセンター利用者数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	6,142 人日	6,270 人日
４月１日時点の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業施設の待機児童数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	3 人（H30.4.1 時点）	0 人

ウ　教育

子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭、学校、地域社会及び行政が一体となった青少年の健全育成を推進するとともに、児童生徒支援対策の充実、子ども・若者育成支援の総合的推進など、すべての子ども・若者に目と心を向けた教育の実践や教育環境の整備に努める。

また、児童生徒の科学への関心を高め、創造性豊かな人材育成を図るため、出雲科学館を活用した理科学習を実施する。

他方、出雲に根付く伝統文化の保存・継承や新たな芸術文化の創造を促すための環境づくりや条件整備、市民意識の醸成など、芸術文化の振興に資する施策の総合的な推進を図る。

さらに、圏域内に存立する国立大学法人島根大学や公立大学法人島根県立大学の持つ専門知識や施設を活用し、産業振興や人材育成、地域医療の充実、保健・福祉の推進、教育・文化の振興等を図るための取組を行う。

【形成方針】

（ア）不登校に対する支援体制の充実・強化

【取組内容】

不登校やひきこもりがちな児童生徒の支援体制を充実・強化し、児童生徒の実態に応じた教育支援を実施する。

【役割分担】

○　出雲地域においては、不登校対策の専門機関である教育支援センター（適応指導教室）としてすずらん教室を設置しており、家庭にひきこもりがちな児童生徒の実態に応じたきめ細かな支援を図るとともに、光人塾、コスモス教室、不登校対策指導員との連携を図る。

○　平田地域においては、不登校対策の専門機関である教育支援センター（適応指導教室）として光人塾を設置しており、家庭にひきこもりがちな児童生徒の実態に応じたきめ細かな支援を図るとともに、すずらん教室、コスモス教室、不登校対策指導員との連携を図る。

○　斐川地域においては、不登校対策の専門機関である教育支援センター（適応指導教室）としてコスモス教室を設置しており、家庭にひきこもりがちな児童生徒の実態に応じたきめ細かな支援を図るとともに、すずらん教室、光人塾、不登校対策指導員との連携を図る。

○　出雲地域、平田地域、斐川地域以外の地域においては、各教育支援センター（適応指導教室）及び不登校対策指導員が相互に連携し、不登校児童生徒の実態に応じたきめ細かな支援を図る。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">不登校対策事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">教育支援センター（適応指導教室）の設置並びに不登校対策指導員及び児童生徒支援調整員、心理相談員を配置し、不登校児童生徒に対して、個に応じた支援を行う。また、市内の全小中学校に不登校対策コーディネーターを置き、校内支援体制を確立することで、不登校の未然防止、初期対応、自立支援を行う。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">３つの教育支援センター（適応指導教室）（すずらん教室、光人塾、コスモス教室）、不登校対策指導員、児童生徒支援調整員、心理相談員の相互連携により不登校児童生徒の支援を行い、学校への登校につなげる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>72,910</td><td>72,298</td><td>71,930</td><td>71,249</td><td>71,221</td><td>359,608</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">しまね市町村総合交付金（教育支援センター等運営費交付金）
子どもと親の相談員配置事業委託金</td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
不登校児童の割合	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	2.08％	1.98％

【形成方針】

（イ）出雲科学館における理科学習の充実

【取組内容】

出雲科学館において、高度な装置・機器を用いた体験・実験学習の実施や、島根大学医学部、島根県立大学等との連携事業の実施などにより理科学習の更なる充実を図り、創造性豊かな人材の育成に努める。

【役割分担】

○　出雲地域においては、理科学習施設としての出雲科学館を圏域内の児童生徒や市民が活用することはもとより、科学館の充実した学習設備を活用し、教員のための教材研究、開発及び研修を推進して科学教育の指導体制の確立を図る。

○　出雲地域以外の地域においては、出雲科学館と各地域の学校が連携をとりながら、各小中学校の児童生徒が専用バスの送迎により出雲科学館を利用し、更なる理科学習の充実を図る。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">科学館理科学習事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">出雲科学館（出雲地域）で、圏内の小学３年生から中学３年生までを対象とし、年間計画に基づき年１回から３回の理科学習（授業）を行う。１回当たり授業時間は３単位時間、送迎は民間委託によりバスで行う。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">圏域小中学校の児童生徒の理科授業の中で、最新鋭の高度な装置・機器・材料を使って、創造的な体験・実験学習を行い、基礎基本から高次元にわたる児童生徒の独創性豊かな学習能力・学習意欲の向上が期待される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>36,564</td><td>36,534</td><td>36,444</td><td>27,745</td><td>25,222</td><td>162,509</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

【形成方針】

（ウ）青少年の健全育成

【取組内容】

青少年が健やかに成長し、それぞれの可能性を最大限に発揮できる環境づくりを行うため、家庭、学校、地域及び行政が一体となり青少年の健全育成を推進する。また、関係機関・団体の参画による「出雲市子ども・若者支援協議会」を設置するほか、総合相談窓口として「出雲市子ども・若者支援センター」を設置し、困難を抱える子ども・若者への支援を強化する。

【役割分担】

○　出雲地域においては、各地区青少年育成協議会の活動を支援し、地域における見守り活動など、地域社会が一体となった青少年健全育成活動を支援する。また、困難を抱える子ども・若者の総合相談窓口としての役割を担う「出雲市子ども・若者支援センター」を設置し、関係機関との連携を図る。

○　出雲地域以外の地域においては、各地区青少年育成協議会の活動を支援し、地域における見守り活動など、地域社会が一体となった青少年健全育成活動を支援する。また、困難を抱える子ども・若者を支援していくため、「出雲市子ども・若者支援センター」の設置を周知し、有効な支援につなげていく。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">出雲市青少年育成市民会議補助事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">出雲市青少年育成市民会議への支援を行い、各地域に組織されている地区青少年育成協議会等との連携により、青少年育成支援活動を推進する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">各地区青少年育成組織の活動を支援することにより、市民による青少年健全育成活動の活性化につなげる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>5,362</td><td>5,362</td><td>5,362</td><td>5,362</td><td>5,362</td><td>26,810</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

【形成方針】

（エ）芸術文化の振興

【取組内容】

市民一人ひとりが身近に芸術文化に触れ、親しむことができる環境を安定的・恒常的に確保することに努め、「豊かな芸術文化資産の活用・継承・発展」、「芸術文化活動の担い手育成」、「芸術文化によるまちづくりや観光・産業等の関連分野との連携」、「市民・文化団体、民間団体、行政等による協働の拡充・推進」の４つの視点を持って芸術文化振興施策の展開を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、出雲市民会館を中心に、年間を通じて国内外の優れた芸術作品やアーティストの招聘、芸術文化の様々な催しを開催し、市民参加と圏域全体の活力につながるような取組を進める。また、出雲芸術アカデミー事業を展開し、音楽芸術を通じて子どもたちの創造性と感性を高め、豊かな心を育むとともに、広く市民の音楽活動への参加を促進する活動を推進する。

○　出雲地域以外の地域においては、出雲神楽や地歌舞伎など地域で受け継がれてきた伝統芸能が多数存在し、どれもかけがえのない貴重な地域資源となっている。一方で、後継者不足による保存継承が難しくなっており、圏域全体で団体同士のネットワーク化を図り、保存伝承を支援していく。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">芸術文化振興事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">優れた芸術作品をはじめ、様々な芸術文化に触れる機会を提供する「出雲総合芸術文化祭」を開催するとともに、子どもの頃から芸術文化に触れ、学ぶ機会を提供する「出雲芸術アカデミー」の事業展開により、地域の芸術文化活動の創造・発展と芸術文化を担う人材の育成を図る。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">出雲総合芸術文化祭、出雲芸術アカデミーとも出雲地域の文化施設を中心に開催されているが、芸術文化に触れる機会は圏域住民に広く提供されている。また、招聘事業により本物の芸術作品に出会い、一流のアーティストに触れることは、圏域における芸術文化の水準を高め、様々な芸術文化活動への住民の積極的な参加を促す。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>90,700</td><td>90,700</td><td>88,000</td><td>88,000</td><td>88,000</td><td>445,400</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	11,360 人	10,000 人

【形成方針】

（オ）高等教育機関との連携

【取組内容】

出雲市と国立大学法人島根大学、公立大学法人島根県立大学とは、それぞれ連携協定を締結している。これらの高等教育機関との間で、様々な市民公開講座の共同実施や地域で開催される医療・看護・保健等の学習機会に講師や学生を派遣するなど、圏域内における高等教育機関としての機能を発揮できる体制づくりを圏域全体で協力し、推進する。

各学校の魅力を発信し、地域医療に従事する学生の確保を図るとともに、圏域の医療環境の向上や、医療従事者の人材確保などを一層進めていく。

【役割分担】

○　出雲地域においては、２つの高等教育機関のそれぞれの特色や研究成果を活用し、市民の健康づくりをはじめ、様々な分野にわたり公開講座を開講していく。また、児童生徒の理科学習施設としての「出雲科学館」と連携・協力を図りながら、「子ども科学学園」や「科学の祭典」を実施し、児童生徒の学力の向上にも努めていく。

さらに、学生の教育実習を小・中学校で受け入れることなどにより、地域で活躍する医療人の確保や定住促進に努める。

○　出雲地域以外の地域においては、各学校から中学校等に学生を講師として派遣するなど、それぞれの地域に応じた研修や教室を実施していく。

出雲市立総合医療センターでは、積極的に島根大学から臨床研修医及び医学部実習生の受入れを行うともに、島根県立大学及び市内の専門学校から看護師、栄養士、理学療法士等の実習生受入れを行い、医療従事者の人材確保・育成に努めていく。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">島根大学医学部支援協議会への支援事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">農業団体や地元経済団体とともに島根大学医学部支援協議会を設置し、各団体からの寄附金を受け、島根大学医学部（出雲地域）における活動を支援する。
【支援事業】
①　出雲市民に還元できる教育研究プロジェクトへの支援
②　がんプロフェッショナル養成プラン事業への支援
③　教育研究基盤の整備への支援
④　学生による地域貢献ボランティア等への参加支援</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">①　医療、看護、保健等に関する研究成果の公開講座やワークショップの開催により、圏域住民の学習支援に成果が期待される。
②　がん指導医のスキルアップ研修や学外から専門医を招いた講演会の開催などにより、がん医療水準の向上とがんプロフェッショナルの養成・確保が図られる。
③　地域医療教育学講座の実施や医療機器の整備により、医療従事者の育成・確保、医学教育水準の向上が図られ、住民が安心して暮らせる地域社会の形成に資する。
④　学生の地域貢献ボランティアへの参加や圏域住民との交流拡大は、まちづくり活性化や定住促進に寄与する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>8,000</td><td>8,000</td><td>8,000</td><td>8,000</td><td>8,000</td><td>40,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
市内大学・専門学校在学生数	R 元年度(2019)	R6 年度(2024)
	1,825 人（H31.4.1 時点）	2,000 人
島根大学、島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	114 件	130 件

エ　産業振興

圏域の自立と発展を支える産業振興を図るため、出雲市東部工業団地など既存の工業団地などへの企業立地を促進するとともに、新たな企業進出を促すため、新工業団地の整備に取り組む。また、人が集い賑わう都市空間を形成するため、中核都市拠点地区（出雲地域）や東部都市拠点地区（平田地域）への都市機能の集約化に取り組む。

また、化石燃料に依存しない低炭素社会の確立をめざし、風力、バイオマス、太陽光などの地域資源を活用した新エネルギーの利用及び関連産業の成長を促す。

農林水産業の振興を図るため、農林漁業生産基盤の整備、農山漁村の環境整備に取り組むとともに、法人化、組織化などによる経営体の強化、人材づくりや担い手育成、就業促進に努める。

さらに、「出雲」の全国的な知名度を生かすため、観光拠点の整備とネットワーク化を図り、国内外から多くの観光客が訪れる神話観光大国の創造をめざす。

【形成方針】

（ア）企業誘致

【取組内容】

既存の工業団地への新規立地が進み、未分譲地が少なくなる中、新たな企業進出を促すため、新工業団地の整備に取り組む。また、企業間ビジネスマッチングの推進等による既存企業の事業拡張を促進するとともに、中心市街地等へ事務系職場をはじめとしたソフト産業の立地を図り、地域産業の活性化と多種多様な雇用の場の創出、雇用機会の増大を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、出雲長浜中核工業団地の未利用区画をはじめとした低・未利用地への製造業等の立地及び既存企業の事業拡張を促進することにより、地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。

また、中心市街地においては、空きビルや低・未利用地を活用したソフト産業等の立地を図る。

○　平田地域においては、出雲市東部工業団地や河下港臨海工業団地への企業立地、鋳物関連製造業をはじめとした既存企業の事業拡張を促進し、地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。

○　多伎地域においては、多伎工業団地に立地している企業などの既存企業の事業拡張を促進し、地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。

○　佐田地域、湖陵地域及び大社地域においては、既存企業の事業拡張を促進し、地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。

○　斐川地域においては、電子部品・機械関連等の大手メーカーの工場集積や事業拡張を促進し、斐川企業化支援センター・貸工場を中心に企業の創業支援等を維持･拡大するとともに､新たな企業進出による雇用機会の更なる増大を図るため、新工業団地の整備に取り組む。

【具体的な事業】

事業名	企業誘致促進事業			関係地域名	全地域	
事業概要	工業団地や民間の未利用地・空き工場等の低・未利用地への企業立地及び企業間ビジネスマッチングの推進等による既存企業の事業拡張を促進するため、積極的に企業訪問・情報収集活動を行うとともに、立地企業への支援策を講じる。					
成　果	出雲地域、平田地域及び斐川地域を中心に、新規企業立地及び既存企業の事業拡張を実現することにより、地域産業の活性化と雇用機会の増大が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	549,252	534,105	177,466	140,322	109,599	1,510,744
国県補助事業等の名称、補助率等						

事業名	ふるさと融資貸付事業			関係地域名	全地域	
事業概要	ふるさと融資貸付事業（（一財）地域総合整備財団）を活用し、定住自立圏構想に資する民間事業を支援する。					
成　果	ふるさと融資貸付事業を活用し、民間事業者に対して無利子で融資を行うことにより、地域活性化及び雇用の創出が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	未定	未定	未定	未定	未定	－
国県補助事業等の名称、補助率等						

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	33 件 (H26-H30 年度の累計)	30 件 (R2-R6 年度の 5 年間)

【形成方針】

（イ）中心市街地活性化

【取組内容】

中心市街地の活性化に向け、空き店舗対策や商業環境整備を促進するとともに、商店街が実施する賑わいの創出、回遊性の向上に資するイベントへの支援等により、地域商業の経営基盤の強化と魅力の向上を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、出雲市駅を中心とする地域を広域的な中核都市拠点と位置づけ、小売・商業サービス、情報ビジネス、行政サービス、宿泊、都市型居住、医療・福祉、文化、高度教育等の様々な高次都市機能の集積を図る。

○　平田地域においては、東部都市拠点と位置づけ、小売・商業サービス、行政サービス、都市型居住、医療・福祉、観光機能等がコンパクトに集積し、地域の生活をはじめ都市の発展を支える拠点形成を図る。

○　出雲地域及び平田地域以外の地域においては、海・山などの豊かな自然環境や観光資源を生かした産業振興を図るとともに、それらと調和のとれた定住促進を図る。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">地域商業等支援事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="3">出雲・平田・大社・斐川地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">商業集積地等における開業希望者等に対して、家賃等の一部補助を行う。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">郊外型大規模小売店舗の進出やコンビニエンスストアの出店等により、中心市街地等の商業機能が失われつつあるなか、商業集積地等における開業希望者等に対して家賃等の一部補助を行うことにより、商業機能の維持・向上及び地域経済の活性化が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>6,800</td><td>6,600</td><td>6,600</td><td>6,600</td><td>6,600</td><td>33,200</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">島根県地域商業等支援事業補助金</td></tr>
</table>

【形成方針】

（ウ）新エネルギー利用促進

【取組内容】

化石燃料に依存しない低炭素社会の確立と地域産業の振興を目的として、風力、バイオマス、太陽光などの地域資源を活用した新エネルギーの利用及び関連産業の成長を促す。また、新エネルギーの学習、展示機能としての中核施設である出雲科学館及び学習や展示機能を持つ風の子楽習館などのサテライト施設並びに既存の新エネルギー製造等施設を連携させ、市民への普及啓発活動等情報発信を行う。

【役割分担】

○　出雲地域においては、住宅、公共施設、民間事業者における新エネルギーの利用拡大と新エネルギー関連産業の成長を図る。また、出雲エネルギーセンター（次期可燃ごみ処理施設移行後は同施設）で廃棄物発電を行うほか、出雲科学館を中心施設として市民への新エネルギー普及啓発活動を行う。

○　平田地域においては、住宅、公共施設、民間事業者における新エネルギーの利用拡大と新エネルギー関連産業の成長を図る。また、十六島風車公園において市民への新エネルギー普及啓発活動を行う。

○　佐田地域においては、住宅、公共施設、民間事業者における新エネルギーの利用拡大と新エネルギー関連産業の成長を図る。また、木質チップによるバイオマス資源を温浴施設において活用する。

○　多伎地域においては、住宅、公共施設、民間事業者における新エネルギーの利用拡大と新エネルギー関連産業の成長を図る。また、キララトゥーリマキ風力発電所で風力発電を行うほか、風の子楽習館等において市民への新エネルギー普及啓発活動を行う。

○　湖陵地域及び大社地域においては、住宅、公共施設、民間事業者における新エネルギーの利用拡大と新エネルギー関連産業の成長を図る。

○　斐川地域においては、住宅、公共施設、民間事業者による新エネルギーの利用拡大と新エネルギー関連産業の成長を図る。また、斐川環境学習センターにおいて市民への新エネルギー普及啓発活動を行う。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">新エネルギー推進事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">各地域の特性を生かしながら、再生可能エネルギーの利用を促進することで、循環型社会を構築し、地球温暖化抑制に寄与する取組を推進する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">新エネルギー関連産業の成長により、産業・経済の振興が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

【形成方針】

（エ）観光振興

【取組内容】

「出雲」の全国的な知名度、豊かな歴史・文化資源、自然資源を最大限に生かすため、観光拠点の整備とネットワーク化により滞在力の強化を図り、国内外から多くの観光客を呼び込み、交流人口１，２００万人の実現をめざす。

【役割分担】

○　出雲地域においては、多くの古代遺跡が集積しており、出雲弥生の森博物館を拠点として、古代出雲の文化、史跡、文化財の情報提供や資料の保存に努めることで、歴史・文化の継承と発展に寄与し、歴史空間としてのグレードを高めるとともに、南部にある県立自然公園内の交流型体験施設を活用し、滞在型観光に努める。

○　平田地域においては、歴史的景観を有する木綿街道の修景整備を進めるとともに、宍道湖の豊かな自然を生かした親水性豊かな水辺空間の保全・活用に努め、日本海側では全国最大規模の風力発電施設の観光的活用を進める。

○　佐田地域においては、緑豊かな森林、温泉を活用した癒しの空間を提供する。

○　多伎地域においては、海浜リゾート的なエリアを形成しており、豊かな保養・海洋レジャー空間として活用し、癒しと健康づくりのゾーンを提供する。

○　湖陵地域においては、日本海の海岸線と自然豊かな神西湖を生かした水辺空間の活用を図る。

○　大社地域においては、出雲大社周辺を歴史・文化のシンボル空間と位置づけ、関連の道路や街なみ環境の整備を図り、まち歩きにふさわしい歴史回廊を整備し、「神話の國出雲」の中心地としての求心力を高める。また、日御碕などの豊かな海岸線を生かした保養・海洋レジャー空間の活用を図るとともに、日本遺産「日が沈む聖地出雲」の取組を推進する。

○　斐川地域においては、荒神谷遺跡に代表される歴史文化遺産や出雲地方独特の築地松と散居景観を生かした観光地づくりを推進する。また、チューリップ、2000年ハス、ヒマワリ、シクラメンといった斐川の花を生かした地域振興を図り、特色ある産品開発と連携した取組を推進する。

【具体的な事業】

事業名	重要文化財旧大社駅本屋保存修理事業		関係地域名	大社地域		
事業概要	重要文化財旧大社駅本屋の保存修理工事を行う。 事業期間（Ｒ２～Ｒ７年度）					
成　果	重要文化財の保存事業を実施することにより後世にこれを継承するとともに、出雲圏域の中核となる観光施設の整備・充実により、圏域観光の中心地としての求心力が高まり、交通インフラの充実や他地域の観光施設との連携強化と相まって、滞在力、周遊力の強化、圏域全体の観光基盤の充実が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	93,000	313,000	313,000	137,000	0	856,000
国県補助事業等の名称、補助率等	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（国１／２） 島根県文化財保存事業費補助金（県１／６）					

事業名	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡調査整備事業		関係地域名	多伎地域		
事業概要	国史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡の調査・保存・整備・活用を推進する。 ・導入ゾーンガイダンス施設整備、越堂たたら跡現地整備					
成　果	・文化財の保存及び調査研究成果を観光振興等に活用する。 ・石見銀山から出雲大社に至る中間点に位置し、新たな観光交流基地として地域の活性化に大きく貢献するものと期待される。 ・出雲大社を中心とする滞在拠点との連携強化や情報発信の充実を図ることにより、出雲地域に訪れる観光客を多伎地域へ誘導し、もって圏域全体の周遊性、滞在性を強化する。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	9,000	5,000	20,000	20,000	9,000	63,000
国県補助事業等の名称、補助率等	調査関係費・・国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（１／２） 整備関係費・・史跡等総合整備活用推進事業費補助金（１／２）					

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">荒神谷遺跡整備改修事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">斐川地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">荒神谷遺跡は、遺構の復元整備地や園路などの周辺環境が、史跡整備から 30 年近くが経過し、劣化・き損が生じている。このため、遺構の保護に留意しながら、改修整備工事を実施する。
・復元整備地保護層等の改修整備</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">・現在、荒神谷遺跡の来園者は減少傾向にあるが、整備改修後の復興した遺跡には、初めての来園者はもちろんのこと、過去に来園したことがある者が再び訪れることが期待できる。
・荒神谷遺跡は、出雲地域の各遺跡や博物館をつなぐ、重要拠点の一つとして、地域全体の活性化に大きく貢献するものと期待される。
・わが国を代表する荒神谷遺跡の恒久的な保護と出土状況復元展示の両立につながり、保存・活用することで、改めて、大量の青銅器発見の驚きと感動、また、また、文化財の大切さを伝え、遺跡を次代へ継承することができる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>35,642</td><td>9,770</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>45,412</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（１／２）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">博物館展示研究事業及び管理費</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">・出雲弥生の森博物館及び西谷墳墓群史跡公園は、国史跡西谷墳墓群を保存活用するための施設であり、加えて、圏域の遺跡の調査研究成果を一般公開する機能と埋蔵文化財調査センターとしての機能をあわせ持つ施設である。また、荒神谷博物館及び荒神谷史跡公園は、国史跡荒神谷遺跡を保存活用するための施設である。
・両博物館を歴史学習の拠点として活用するとともに、近隣博物館とも連携した観光ルートの確立により本圏域の歴史文化資源を観光振興にも活用していく。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">・出雲の歴史文化遺産の新しい観光資源としての活用が期待される。
・近隣施設等との連携によって、面的な観光戦略を推進する。
・歴史資料のみならず博物館職員等の人材を活用し、地域の「まちづくり」、「人づくり」に寄与する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>87,133</td><td>85,231</td><td>86,676</td><td>86,596</td><td>86,107</td><td>431,743</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">地域の特色ある埋蔵文化財活用事業（１／２）</td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
観光入込客数 （1 月～12 月の暦年での集計数）	H30 年(2018)	R6 年(2024)
	1,162 万人	1,200 万人
宿泊者数 （1 月～12 月の暦年での集計数）	H30 年(2018)	R6 年(2024)
	74.7 万人泊	100 万人泊
外国人宿泊客数 （1 月～12 月の暦年での集計数）	H30 年(2018)	R6 年(2024)
	7,875 人泊	20,000 人泊

【形成方針】

（オ）農林水産業の振興

【取組内容】

農業については、平成３０年から国が米の生産数量目標配分を示さなくなり、また米の直接支払交付金も廃止され、農政の大転換を迎える中、農業が職業として選択しうる魅力とやりがいのあるものとなるよう、その実現に向けて各種施策を集中的かつ重点的に実施する。水稲、畜産、特産については、地域ブランド化を進めるため、市、県、ＪＡが一体となって、販路拡大と通年出荷体制の確立をめざす。

林業については、人工林の保育・間伐の推進と天然生林の保全・管理等に加え、山地災害及び森林病害虫等被害の防止対策を推進し、森林資源の保全に努める。また、森林経営管理法の施行により平成３１年４月からスタートした「新たな森林管理システム」により、これまで放置されていた森林の適切な管理を図るとともに、林業従事者の育成や森林組合等の関係機関との協力の下で適切な森林施業を展開する。

水産業については、地域ブランド、地域特性を生かした漁業の振興と放流事業などによる資源維持・増大を図る。また、水産基盤の整備を行い、生産性の向上を図るとともに、安全で住みよい漁村環境の形成に努める。

【役割分担】

○　出雲地域においては、水稲のほか、ぶどう、産直野菜、アスパラガス、菌床しいたけ、花き、乳用牛、肉用牛などの主要品目を中心に生産基盤整備、施設整備、後継者育成により、生産拡大、生産技術向上、産地確立に取り組む。

○　平田地域においては、水稲のほか、柿、ブロッコリー、青ネギ、小豆、茶、乳用牛、肉用牛、鶏、十六島のり、アマダイ、しじみなどの主要品目を中心に生産基盤整備、施設整備、後継者育成により、生産拡大、生産技術向上、産地確立に取り組む。

○　佐田地域においては、水稲のほか、産直野菜、乳用牛、繁殖牛、林産物などの主要品目を中心に生産基盤整備、施設整備、後継者育成により、生産拡大、生産技術向上、産地確立に取り組む。

○　多伎地域においては、いちじく、ブリなどの主要品目を中心に生産基盤整備、施設整備、後継者育成により、生産拡大、生産技術向上、産地確立に取り組む。

○　湖陵地域においては、水稲のほか、かんしょ（西浜いも）、サワラ、しじみなどの主要品目を中心に生産基盤整備、施設整備、後継者育成により、生産拡大、生産技術向上、産地確立に取り組む。

○　大社地域においては、ぶどう、ブリなどの主要品目を中心に生産基盤整備、施設整備、後継者育成により、生産拡大、生産技術向上、産地確立に取り組む。

○　斐川地域においては、水稲のほか、麦、大豆、ハトムギ、たまねぎ、キャベツ、トマト、青ねぎ、しじみなどの主要品目を中心に、施設整備、後継者育成により、生産拡大、生産技術向上、産地確立に取り組む。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">中山間地域等直接支払事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="3">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等における農業生産の維持を図りながら、多面的機能を確保する。協定を結び、対象農用地において継続的な農業生産活動を行う農業者等に対して、交付金を交付する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">圏域内でこの制度に取り組む集落において、農用地保全が図られる。この取組により、中山間地域における農業の多面的機能が維持され、平野部の都市住民を含む多くの住民の生命・財産と豊かな暮らしが守られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>109,000</td><td>109,000</td><td>109,000</td><td>109,000</td><td>109,000</td><td>545,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="4">中山間地域等直接支払交付金（補助率：定額）
中山間地域等直接支払推進交付金（補助率：定額）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">多面的機能支払交付金</td><td>関係地域名</td><td colspan="3">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">農地・農業用水等の資源の日常の保全管理活動や、質的向上を図る共同活動に加え、老朽化が進む農業用排水路などについて、農業用資源の長寿命化のための補修・更新等を行う活動組織に対し、支援を行う。
負担割合：国１／２、県１／４、市１／４</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">地域ぐるみで、農業用水の保全活動や草刈り、景観植物の植栽など、効果の高い共同活動が取り組まれる。集落機能が低下し、農村コミュニケーションが失われつつある農村地域において、地域資源の適切な保全管理が促進されるほか、施設の長寿命化が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>370,000</td><td>370,000</td><td>370,000</td><td>370,000</td><td>370,000</td><td>1,850,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="4">多面的機能支払交付金（補助率：定額）
多面的機能支払推進交付金（補助率：定額）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">出雲農業未来の懸け橋事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">農産、特産、畜産の各分野において、担い手育成、産地維持拡大及びブランド化をめざす取組に対し支援する。市とＪＡしまね出雲地区本部・斐川地区本部が出資し、「出雲農業未来の懸け橋事業推進協議会」で事業を運営する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">国や県の事業では採択困難な小規模事業等についてきめ細かく対応しており、担い手や産地の維持拡大に効果があるほか、出雲圏域における食料自給率の向上に資する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>75,000</td><td>75,000</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">ＪＡしまね出雲地区本部･斐川地区本部が市負担額と同額を支出し、事業運営する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">新出雲農業チャレンジ事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">将来を見据えた農業振興を図るため、地域農業（農村社会）の維持やモデル的・先駆的取組、GAP 認証取得等を支援する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">中山間地域における農地法面の草刈作業の省力化、新技術を用いて作業効率を向上させるモデル的な取組等を支援することで、農業を取り巻く様々な課題解決のために貢献する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>15,000</td><td>15,000</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">アグリビジネススクール事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">ぶどう・いちじく・柿・レディース＆シニア産直野菜の４つの講座を設け、通年にわたり栽培技術の研修を実施する。
事業主体は出雲市農業再生協議会で、市・斐川町地域農業再生協議会・県東部農林振興センター出雲事務所・ＪＡと連携協力して実施する。事務局は市農業支援センター。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">旧出雲市で開始した本事業を圏域全体で展開することにより、新たな地域農業の担い手を育成確保するとともに、ＵＩターン者の定住促進にも貢献する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>1,714</td><td>1,627</td><td>1,714</td><td>1,627</td><td>1,714</td><td>8,396</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">森林病害虫等防除対策事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">松林を松くい虫の被害から守るため、予防措置として樹幹注入を、駆除措置として被害木の伐倒駆除を実施するほか、抵抗性マツを植栽する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">松くい虫被害を軽減することにより、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給などの多面的機能を持続的、安定的に維持保全していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>45,600</td><td>57,000</td><td>39,100</td><td>25,200</td><td>69,900</td><td>236,800</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">森林病害虫等防除事業（国３／４）
保全松林健全化整備事業（国７／１０）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">２１世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド事業（林業３Ｆ事業）</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">森林の整備・市内産木材の利用促進等を図り、林業の振興に資する取組に対し支援する。市、出雲地区森林組合、木材協会出雲支部が出資し、「林業３Ｆ運営協議会」で事業を運営する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">国や県の事業の対象とならない小規模事業等に対応することで、山林所有者や小規模事業者の積極的な事業実施が期待され、造林・製材・流通の促進が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>7,600</td><td>7,600</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">市、出雲地区森林組合、木材協会出雲支部が負担金を支出し、事業運営する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">みんなでつくる出雲の森事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">市民が市内チップ工場へ持ち込みをする間伐材等の伐採・搬出経費の補助を行う。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">市民参加により従来未利用だった間伐材等を森林から搬出することで、木質バイオマス燃料としての利活用と、市民の森林への意識高揚が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>5,210</td><td>5,210</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">２１世紀出雲水産業総合助成事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">種苗の放流や漁業用機器の整備、特産品開発、魚食普及活動などに対して、補助金を交付する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">「資源増大」、「就労環境の整備」、「担い手対策」などの事業に対して、市が費用の一部を補助することにより、効果的かつ効率的な水産振興が図られるとともに、圏域住民に対する安全安心な水産物の提供につながり、豊かな地域社会の実現に寄与する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>18,000</td><td>18,000</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
認定新規就農者数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	4.8 人 (H26-H30 年度の平均)	7 人増（対前年度比）
集約した施業団地数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	－	5 団地 (R2-R6 年度の 5 年間)

オ　ライフラインの整備

水道は、地域における住民の命と暮らしを守るための生活機能を確保し、人口定住を促進し、経済活動を支えるための重要な役割を担っている。安全で良質な水を安定して供給し続けるため、「出雲市水道事業ビジョン」に基づき計画的に取り組む。

【形成方針】

（ア）水道の整備・統合

【取組内容】

「出雲市水道事業ビジョン」において『安心で安全な水を安定供給し続ける水道』を基本理念に掲げ、安定水源の確保や水質保持及び衛生対策の徹底、施設の耐震性能の向上や老朽施設の更新に取り組む。

また、災害時等の緊急時における給水機能充実のため、停電時の緊急対策や災害時の貯水量確保として緊急貯留槽や緊急遮断弁の整備など、災害対応力強化に向けた施設整備に取り組む。

【役割分担】

○　出雲地域においては、安定水源の確保のため新規水源の開発の検討を行う。また、浄水施設の耐震化を行うとともに、配水本管の二条化に取り組み、災害時の漏水事故に対するバックアップ機能の強化を図る。

○　平田地域においては、老朽化した取水施設の改良、県用水の有効活用にあわせ出雲地域との水融通を図る施設の再構築に取り組む。

○　佐田地域においては、浄水施設の改良、施設の耐震化、老朽施設の更新に取り組む。

○　多伎地域においては、浄水施設の改良、施設の耐震化、老朽施設の更新に取り組む。

○　湖陵地域においては、施設の耐震化、老朽施設の更新に取り組む。

○　大社地域においては、災害時の貯水量確保のための施設整備や、施設の効率的運用のための施設統合整備、施設の耐震化、老朽施設の更新に取り組む。

○　斐川地域においては、配水施設の改良や老朽施設の更新・耐震化の検討を行い、整備を図る。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">水道施設耐震化事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">水道施設の耐震化と、災害時の貯水量を確保する施設の整備を計画的に取組む。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">水道施設の耐震化と、災害時の対応力強化が向上し水道の安定供給が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>0</td><td>171,000</td><td>90,000</td><td>90,000</td><td>90,000</td><td>441,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">事業名：水道施設等耐震化事業　　補助率：１／３、１／４</td></tr>
</table>

⑵　結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア　地域公共交通

公共交通機関は、住民生活の利便性向上や産業・観光振興などに欠かせないものであり、その充実やネットワークの構築に努める。

【形成方針】

（ア）公共交通機能の充実

【取組内容】

身近な移動手段としてのバス交通については、圏域の一体性や公平性、また、利便性向上の観点から見直しを図り、高齢者や児童生徒をはじめとする市民の通院、通学、買い物及び観光客の利便の確保・充実を図る。

一畑電車については、出雲・松江両圏域を宍道湖北岸でつなぐ観光振興の要となる重要な公共交通機関であるとともに、貴重な生活路線であることから、事業者の更なる経営努力と国・県・沿線市の適切な支援により、路線の維持・充実に努める。

また、ＪＲ、一畑電車、路線バスなど地域間を結ぶ基幹交通と各地域内を運行するバスとの乗り継ぎの向上を図り、圏域内の交通システムの構築に努める。

【役割分担】

○　出雲地域においては、ＪＲ出雲市駅及び一畑電鉄出雲市駅を中心に、地域間を結ぶ基幹路線バスや廃止路線代替バスが運行しており、ＪＲや一畑電鉄と結節するこれらの路線の維持･充実を図る。

○　出雲地域以外の地域においては、従来から運行されているバス等が地域内の主要施設を結んでおり、これらと基幹交通との乗り継ぎの向上等路線の維持・充実を図る。

【具体的な事業】

事業名	一畑電車活性化事業			関係地域名	出雲・平田・大社地域	
事業概要	宍道湖北岸を東西に結ぶ唯一の公共交通機関としての一畑電車を維持・充実させるため、県及び沿線２市が協調し、一畑電車沿線地域対策協議会を通して、事業者が行う施設の改良や修繕等の安全性向上に資する事業への支援を行うとともに、利用促進を図る。					
成　果	出雲地域とその他の地域を結び、沿線住民の通勤・通学及び出雲大社などへの観光客等の交通手段として年間約１４０万人が利用している路線の維持・充実が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	176,989	71,503	71,503	71,503	71,503	463,001
国県補助事業等の名称、補助率等						

事業名	出雲市バス交通対策事業			関係地域名	全地域	
事業概要	高齢者や児童生徒をはじめとする市民の通院、通学、買い物などの利便性を確保するため、路線バスの運行の維持に努める。 また、沿線地域で組織する運行協議会と市が一緒になって、路線バスの利用促進等を図る。					
成　果	交通弱者である高齢者や通学者等の交通手段の確保及び住民ニーズに対応したダイヤ編成、路線網の充実が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	233,238	235,947	226,508	243,977	225,168	1,164,838
国県補助事業等の名称、補助率等	県生活交通確保対策交付金					

イ　デジタル・デバイドの解消に向けたＩＣＴインフラ整備

大規模な災害への備えと、基礎的な生活基盤の整備を推進するため、防災ネットワークの構築、携帯電話不感地域の解消への対応など、情報通信基盤の整備に取り組む。

【形成方針】

（ア）携帯電話不感地域の解消

【取組内容】

携帯電話の急速な普及により、通話できることが当たり前となった現在、地形的な事情から圏域内に点在する通話できない区域の解消に向けた取組を進め、定住促進の観点からも圏域内における通信格差の是正に努める。

【役割分担】

○　出雲地域においては、通信事業者の協力を得ながら、移動通信用鉄塔整備事業等の手法により、点在する携帯電話が利用できない区域の解消をめざす。

○　出雲地域以外の地域においては、通信事業者の協力を得ながら、移動通信用鉄塔整備事業等の手法により、点在する携帯電話が利用できない区域の解消をめざす。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">移動通信鉄塔施設整備事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">圏域の中山間地域や海岸部において、地形上の理由から点在する携帯電話の不感地域の解消のため、移動通信用鉄塔施設を整備する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">圏域の通信格差の是正を図るとともに、非常時の連絡手段の確保と定住促進に資する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>40,000</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">移動通信鉄塔施設整備事業補助金（県２／３）</td></tr>
</table>

【形成方針】

（イ）防災ネットワークの構築

【取組内容】

防災ネットワークについては、既存の有線系媒体（情報いずも等）を引き続き活用していくとともに、防災行政無線（同報系）により、地域住民に情報を迅速かつ確実に一斉伝達し、災害に強い防災ネットワークの構築を図る。

【役割分担】

○　出雲地域、平田地域、湖陵地域及び大社地域においては、既存の有線系媒体を活用しながら、防災行政無線やコミュニティＦＭの活用を図る。また、防災行政無線の戸別受信機の未設置地域においては、その整備を進める。

○　佐田地域及び多伎地域においては、既存の有線系媒体を活用しながら、防災行政無線の活用を進める。

○　斐川地域においては、既存の有線系媒体を活用しつつ、アナログ式防災行政無線が令和４年１１月に使用できなくなることから、デジタル式防災行政無線及び戸別受信機の整備を進める。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">防災情報伝達システム整備事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="3">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">既存の有線系媒体を活用しながら、防災行政無線の全市拡大、コミュニティＦＭを活用した伝達手段の構築を行い、防災情報伝達システムの整備を図る。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">有線系媒体の活用と並行して、無線系媒体の整備を進め、停電時においても情報伝達できる手段を確保し、全地域を結ぶネットワークの構築を図っていく。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>325,000</td><td>198,000</td><td>198,000</td><td>0</td><td>0</td><td>721,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者（世帯）数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	17,664 人・世帯	48,000 人・世帯

ウ　道路等の交通インフラ整備

山陰自動車道、地域高規格道路境港出雲道路とこれらに関連するアクセス道路など、高速交通網の一層の整備促進を図るとともに、圏域内各地域間の交流促進や圏域の一体的かつ均衡ある発展を図るため、幹線道路の整備を進める。

【形成方針】

（ア）高速道路等の整備促進

【取組内容】

広域交通網の主軸となる山陰自動車道と、山陰自動車道とともに宍道湖・中海圏域の８の字ルートを形成する地域高規格道路境港出雲道路の整備を促進し、他圏域との交流の拡大を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、事業中の山陰自動車道「出雲・湖陵道路」の早期完成を関係機関に強く働きかけるとともに、地域高規格道路境港出雲道路のうち、一般県道矢尾今市線以西の整備区間指定を促進する。

○　平田地域においては、地域高規格道路境港出雲道路の地域内ルートの早期決定及び整備区間指定を促進する。

○　多伎地域及び湖陵地域においては、事業中の山陰自動車道「出雲・湖陵道路」及び「湖陵・多伎道路」の早期完成を関係機関に強く働きかける。

【具体的な事業】

事業名	山陰自動車道関連道路等整備事業			関係地域名	出雲・多伎・湖陵地域	
事業概要	「出雲・湖陵道路」及び「湖陵・多伎道路」の事業推進のため、周辺地域の道路及び水路についての改良工事を実施する。					
成　果	「出雲・湖陵道路」及び「湖陵・多伎道路」の整備促進等により、圏域内各地域間の交流促進に資する。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	15,000	6,000	6,000	6,000	3,000	36,000
国県補助事業等の名称、補助率等						

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
山陰自動車道「出雲・湖陵道路」進捗率	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	69%	100%
山陰自動車道「湖陵・多伎道路」進捗率	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	48%	100%

【形成方針】

（イ）基幹道路の整備促進

【取組内容】

圏域内外交流の基盤となる基幹道路ネットワークを形成する国道９号をはじめとする国道や県道の整備を促進し、慢性的な渋滞の解消や交通安全対策による各地域間の移動時間の短縮を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、交通量の増大や広域圏交流に対応するため、国道９号、国道１８４号、国道４３１号や、主要地方道出雲三刀屋線などの主要県道の道路機能充実を促進する。

○　出雲地域以外の地域においても、国道９号、国道１８４号、国道４３１号、主要地方道斐川一畑大社線、一般県道斐川上島線など国道及び主要県道の道路機能充実を促進する。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">県営事業負担（道路）</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">県事業として実施される国道や主要県道の整備費の一部を負担し、道路機能の充実を図る。
国道１８４号、国道４３１号、出雲三刀屋線、湖陵掛合線、出雲奥出雲線、大社立久恵線、斐川上島線、三刀屋佐田線、鰐淵寺線、十六島直江停車場線、矢尾今市線、外園高松線、窪田山口線、佐田八神線等</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="5">基幹道路の整備により、道路機能の充実が図られ、慢性的な渋滞の解消や地域間の移動時間の短縮に資する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>16,000</td><td>16,000</td><td>16,000</td><td>16,000</td><td>16,000</td><td>80,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

【形成方針】

（ウ）生活幹線道路の整備

【取組内容】

圏域内各地域間の交流促進や圏域の一体的かつ均衡ある発展を図るため、幹線市道の整備を推進するとともに、街路整備の推進により都市機能の充実を図る。

また、生活環境道路改良事業により、生活に密着した道路整備を計画的に推進し、快適な住環境の創出を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、都市計画道路下沢高西線・医大前新町線・高砂町渡橋線・塩冶一の谷線などの街路事業を推進し、中心地域としての都市機能の充実を図る。

また、国道・県道及び学校等の公共施設並びに地域・集落を連絡する幹線市道の整備を進め、安全で利便性の高い道路網の構築を図る。

○　出雲地域以外の地域においては、幹線市道及び街路の整備を促進するとともに、生活に密着した道路整備を行い、基幹道路との円滑な接続を推進し、快適な住環境の創出を図る。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">幹線市道及び他事業関連市道等の整備</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">圏域内各地域間の交流促進や圏域の一体的かつ均衡ある発展を図るため、主要な市道等の整備を推進する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">国道・県道及び学校等の公共施設並びに地域・集落を連絡する幹線市道等の整備を進め、安全で利便性の高い幹線道路網の構築を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>997,500</td><td>948,600</td><td>888,600</td><td>842,200</td><td>757,200</td><td>4,434,100</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">社会資本整備総合交付金（国５／１０）
防災・安全社会資本整備交付金（国５．５／１０）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">生活環境道路改良事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">生活環境道路改良事業計画に基づき、生活に密着した道路を主体に道路拡幅、側溝及び舗装改良等の効果的な整備を行い、交通の利便性や通行の安全性を向上させる。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">地域内交通の利便性が向上し、また交通危険箇所の改善による事故防止対策により、住みよい地域づくりに貢献する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>762,000</td><td>758,400</td><td>762,100</td><td>702,600</td><td>683,800</td><td>3,668,900</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">社会資本整備総合交付金（国５／１０）ほか</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">街路事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">出雲・大社地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">出雲地域及び大社地域においては、都市機能の充実を図るため、都市計画道路の整備を推進する。
（都市計画道路）
・出雲地域：下沢高西線、医大前新町線、高砂町渡橋線
・大社地域：神門通り線（県事業）</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">街路事業の推進により、市街地の渋滞緩和、都市機能の充実が図られ、基幹道路との接続の円滑化、快適な住環境の創出に資する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>251,000</td><td>424,400</td><td>304,200</td><td>252,200</td><td>232,600</td><td>1,464,400</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">社会資本整備総合交付金（国５／１０）
防災・安全社会資本整備交付金（国５．５／１０）</td></tr>
</table>

エ　地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

農林水産業については、各地域で特色ある取組が進められている。圏域内の農林水産物等の地域資源を最大限に活用し、更なる生産拡大と市場性の向上を図るほか、多様な業種との連携による新商品開発や販路拡大を促進し、地産地消の取組を推進する。

【形成方針】

（ア）農水商工連携による地産地消の推進

【取組内容】

圏域内の農林水産物等の地域資源を最大限に活用するため、生産基盤整備や新技術の導入等を支援し、多様な業種との連携による新商品開発や販路拡大を促進し、地産地消の推進を図る。

また、安全安心の食を中心とした地域づくりの取組を進め、地域産品のブランド化・圏域内外への積極的なＰＲを推進する。

【役割分担】

○　出雲地域においては、地元産品の最大消費地としての役割を果たすとともに、多様な業種との連携により新商品の開発等を図る。

○　平田地域においては、「西条柿」や「小豆」を利用した加工食品の販路拡大を図るとともに、特産の「十六島のり」や魚介類等の豊富な水産物を利用した加工食品の開発等を図る。

○　佐田地域においては、間伐材による木質ペレット等のバイオマス利活用を推進する。また、「大豆」を活用した新たな加工食品の開発等を図る。さらに、雲海の館を拠点とし、特産品の販売や地産地消による地域の活性化を図る。

○　多伎地域においては、「いちじく」を利用した加工食品の販路拡大を図るとともに、更なる新商品の開発や水産物の活用を図る。

○　湖陵地域においては、特産の「西浜いも」を利用した焼酎や加工食品等について販路拡大を図る。

○　大社地域においては、「ぶどう」を利用したワイン等の加工品の販路拡大を図るとともに、出雲市唯一の水産物産地市場において水産物等の普及・ＰＲを推進することにより地産地消を促進する。

○　斐川地域においては、既にブランドとして位置づけられている「出西しょうが」や「ひまわり」、「ハトムギ」、「トマト」等の農産物を活用した加工品の販路拡大や商品開発を進めるとともに、宍道湖の水産資源や新たな農産品等を活用した加工品の開発を図る。

【具体的な事業】

事業名	地産地消推進事業			関係地域名	全地域	
事業概要	・県、ＪＡしまね（出雲地区本部・斐川地区本部）との共催による地産地消推進イベントの実施 ・小学生の農作業体験					
成　果	イベント内容を年度により学校給食関係者向け、一般市民向け等として企画することにより、多方面での地産地消推進を実践する。 また小学生の農作業体験を実施し、食と農への関心を高める。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	60	60	60	60	60	300
国県補助事業等の名称、補助率等						

事業名	農林水産振興がんばる地域応援総合事業			関係地域名	全地域	
事業概要	県の「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」における戦略的行動計画に基づき、農業者、関係機関の連携による販売促進、調査活動、施設・機械整備等の多彩な取組を支援し、農業の持続的な発展をめざす。					
成　果	各地域の特性を生かして生産する「いずもぶどう」「いずも西条柿」等の商品力がある特産品及び加工品の生産・販売により、農業経営基盤の維持拡大が可能になる。また、新規就農者支援により、農業の担い手確保に寄与する。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	42,000	42,000	33,000	33,000	33,000	183,000
国県補助事業等の名称、補助率等	新農林水産振興がんばる地域応援総合事業費補助金 補助率：県費１／２、１／３					

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
学校給食地産地消率	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	60.0%	63.0%
「出雲推奨商品－おいしい出雲－」認定数	R 元年度(2019)	R6 年度(2024)
	162 商品	180 商品

オ　地域内外の住民との交流・移住促進

ＵＩターン者受け入れに向けた相談窓口の設置、総合的な定住情報の提供を行うとともに、ＵＩターン希望者のニーズに応じた各種支援策を講ずることにより、定住人口の拡大・定着につなげていく。また、ＵＩターン者を呼び込むことで、地域コミュニティの活性化を図る。

さらに、安全安心な地域社会を構築するため、自然災害、犯罪、事故、空き家の増加等の市民生活上の脅威に対し、自助、互助、公助の精神の下、市、住民、地域活動団体、事業者、関係行政機関等が協働して行う取組を推進する。

【形成方針】

（ア）定住施策の充実

【取組内容】

ＵＩターン促進を図るため、ワンストップサービスで行う相談窓口を設置し、総合的な定住情報を提供するとともに、各種施策によりＵＩターン希望者の多様なニーズに対応した支援を行う。

また、県外等へのＰＲ活動として、インターネットによる情報提供（ホームページの充実）、マスコミへの情報提供、専門雑誌等への記事掲載、出身者会を通じたＰＲ活動、東京・大阪・広島で開催される定住関連イベントへの出展（相談会等）を行い、定住促進を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、ＵＩターン希望者に対して、住宅の建築又はリフォームにおいて必要な費用の一部を助成する事業やＵＩターン就職支援窓口において就職支援を行うことにより、定住促進と地域経済の活性化を図る。

○　出雲地域以外の地域においては、ＵＩターン希望者に対して、住宅の建築又はリフォームにおいて必要な費用の一部を助成する事業について、人口減少の著しい地域を重点支援地域に指定し、子育て世帯や新婚世帯は助成金の上乗せを行い、定住促進を図る。

【具体的な事業】

事業名	定住推進事業				関係地域名	全地域
事業概要	・ワンストップサービスで行う相談窓口の設置 ・ホームページやパンフレットによる情報発信（出雲市の定住促進の取組、仕事・住まい・生活情報、各種助成制度ほか） ・都市部（東京・大阪・広島）で開催される定住フェア（自治体相談コーナー）への参加（ＵＩターン促進のための相談・情報発信） ・市外在住者（２０歳以上で市外在住５年以上）が本圏域へ定住する目的で住宅を建築、購入又は改修する際に必要な費用の一部を助成する。					
成　果	ＵＩターン希望者のニーズに対応した支援策を講ずることにより、本圏域への定住促進と地域経済の活性化が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	51,536	53,036	3,150	2,947	2,422	113,091
国県補助事業等の名称、補助率等	市町村定住支援体制整備推進交付金（県５０%）					

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
ＵＩターン就職支援窓口相談者数（年間延べ人数）	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	444 人	500 人
女性のＵＩターン支援助成事業によるＵＩターン者数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	49 人 (H27-H30 年度の累計)	50 人 (R2-R6 年度の 5 年間)
移住促進住まいづくり助成事業による助成件数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	－	10 件／年
子育て世帯･新婚世帯の UI ターン支援（いずもで新生活応援事業）による助成件数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	－	35 件／年

【形成方針】

（イ）空き家の利活用

【取組内容】

圏域内の定住を促進するため、空き家を借り上げ改修し、定住希望者に貸し出す空き家活用事業や、空き家を紹介する空き家バンク制度、民間の空き家活用の取組等により、市、住民、地域活動団体、事業者、関係行政機関等が協働して、空き家の利活用を図る。

また、所有者や関係者に空き家活用情報を提供することにより流通促進を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、いずも空き家バンクにより、ＵＩターン希望者から要望の多い一戸建て賃貸住宅を主とした空き家の情報提供を行い、定住促進と地域の活性化を図る。

○　出雲地域以外の地域においては、いずも空き家バンクにより情報提供を行うとともに、過疎・中山間地域等の集落の空き家を借り上げ、定住希望者向けの住宅として整備した住宅の管理運営を行い、田舎暮らしに関心のある定住希望者の住宅確保と人口減少や高齢化が進む集落の活性化を図る。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">空き家バンク登録支援事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">空き家の利活用の促進を図るため、「いずも空き家バンク」に登録をする物件に対して、残置物処分やハウスクリーニングを利用する場合にその費用の一部を助成する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="6">人口減少や高齢化が進む集落の活性化と増加する空き家の活用及び定住希望者の住宅の確保が図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>2,000</td><td>2,000</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="5">・しまね定住推進住宅整備支援事業補助金（中山間地域等のみ対象　県５０％　市５０％）</td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
空き家バンク登録物件数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	110 件 (H26-H30 年度の累計)	150 件 (R2-R6 年度の 5 年間)

【形成方針】

（ウ）安全安心なまちづくり

【取組内容】

自然災害はもとより、多様化・凶悪化する犯罪、頻発する交通事故や火災等の事故、健康侵害、テロ、感染症、環境汚染、原子力災害等の市民生活上の脅威に対し、自助、互助、公助の精神の下、市、市民、地域活動団体、事業者、関係行政機関等の協働の取組により、安全安心な地域社会の構築をめざす。

特に、市民の生命、財産を脅かす自然災害に対し地域防災力の向上を図るため、各地区の実情に応じて各地区対策本部の組織体制を更に強化・充実させるとともに、市と各地区災害対策本部のネットワークを強化していく。

【役割分担】

○　出雲地域においては、市役所本庁、各コミュニティセンター、出雲警察署及び出雲地区交通防犯協会等の関係機関を通じ、災害等への迅速できめ細かい対応を実施していく。

○　出雲地域以外の地域においては、市役所行政センター、各コミュニティセンター及び広域交番等の関係機関を通じた災害等への対応を実施していくとともに、市役所本庁等への連絡体制の強化を図る。

⑶　圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア　宣言中心市等における人材の育成

住民自らの意思で自主的・自発的に地域の課題解決に取り組む住民や住民団体の活動が、まちづくりの新たな担い手として期待される中、住民と行政との「協働」のまちづくりを推進する。

また、住民が心豊かで潤いのある生活、生きがいを持っていきいきとした日々を過ごせるよう、多様化するニーズや地域課題に応える生涯学習機会を提供し、圏域を牽引する人材の育成を図る。

【形成方針】

（ア）市民協働の推進

【取組内容】

圏域の様々な課題を解決して、より住みやすいまちづくりを推進するには、市民や市民団体と行政が対等な立場でそれぞれの特性を生かした協働による取組が期待されており、地域課題に対応できる新たな人材の発掘、育成及び活用を図るため、自治組織、市民や企業、各種団体（ＮＰＯ法人含む）などの活動支援や地域間の連携強化への全市的なネットワークの構築を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、出雲市総合ボランティアセンターや出雲市男女共同参画センターなどを拠点として、ボランティア団体等をはじめ、様々な市民活動団体の支援や人材育成に取り組むとともに、市民と行政との協働のあり方を検討する。

○　出雲地域以外の地域においては、各地区のコミュニティセンターを拠点として、地域でこれまで培われた人づくり、まちづくりのノウハウを圏域に生かせるような連携強化のしくみづくりに取り組む。

【具体的な事業】

事業名	ボランティア団体の育成・連携支援事業		関係地域名	全地域		
事業概要	ボランティア団体の育成支援を図るとともに、市民や市民団体との連携によるネットワークの構築をめざし、住みよいまちづくりに努める。					
成　果	ボランティア団体の育成により、圏域内の新たな人材の発掘、人材の育成につなげ、地域の活性化を図っていく。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	600	600	600	600	600	3,000
国県補助事業等の名称、補助率等						

事業名	市民協働推進事業		関係地域名	全地域		
事業概要	地域社会の発展のため、市民や市民団体（NPO 法人を含む。）等と行政がそれぞれの特性を生かしながら協働し、市民協働のまちづくりを推進していく。					
成　果	市民協働のまちづくりの推進により、地域を支えるひとづくりと住民参画を進め、圏域の様々な地域課題の解決につなげ、「人材育成都市」の実現を図っていく。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	3,000	3,000	未定	未定	未定	－
国県補助事業等の名称、補助率等	協働のまちづくり事業助成金（公益財団法人島根県市町村振興協会　１０／１０、上限２，０００千円）					

事業名	コミュニティセンター整備事業				関係地域名	全地域
事業概要	地域活動の総合的な拠点としてコミュニティセンターを整備する。					
成　果	コミュニティセンターを各地区に整備することにより、生涯学習の拠点、また、地域の自主的な自治活動の拠点としての機能を発揮し、地域人材の育成発掘、市民協働の実現が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	0	0	0	5,250	111,300	116,550
国県補助事業等の名称、補助率等						

事業名	集落支援事業				関係地域名	全地域
事業概要	人口減少や高齢化等の進行が著しい中山間地域において、コミュニティ活動の維持と活性化を目指し、集落の話合いの促進や具体化に向けた助言、支援を行うとともに、地域の草刈など共同作業が困難となりつつある集落への支援や地域での相互活動の促進を行う。					
成　果	中山間地域の魅力ある地域づくりや活力が生まれることにより、地域経済の活性化や人口減少の歯止めなどが図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	115,000
国県補助事業等の名称、補助率等						

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
市民協働事業の補助対象事業採択数	R 元年度(2019)	R6 年度(2024)
	5 件	6 件／年
コミュニティセンター利用者数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	809,175 人	810,000 人

【形成方針】

（イ）生涯学習の推進

【取組内容】

環境問題、健康、医療、男女共同参画、人権問題、情報化、地域づくりや食育など現代的課題をはじめ、生まれ育つ地域をよく知り、郷土を愛し、誇りを持つことができるよう、歴史文化、地域資源など広範な領域を題材にして、生涯学習の推進を図る。

【役割分担】

○　出雲地域においては、出雲市生涯学習講座を核として、市民の生涯学習意欲に応え、市民が抱える課題への対応を図るため、学習機会を提供するとともに、各分野における指導者の育成を進める。また、歴史文化、地域資源を後世に引き継ぐことができる体制整備を図る。

○　出雲地域以外の地域においては、各地区のコミュニティセンターを地域の人づくり・まちづくりを行う総合的な拠点として、地域特性を考慮した地域交流活動拠点としての機能を生かしつつ、地域の文化・スポーツ・生涯学習活動支援の総合的、一体的な推進を図る。また、地域の特性や課題を踏まえた地域住民の自主企画事業を支援していく。

【具体的な事業】

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">生涯学習推進事業</td><td>関係地域名</td><td colspan="2">全地域</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">市民の学ぶニーズに応え、様々な行政課題や地域資源を題材とした講座を実施する。また、生涯学習施設を活用した市民の自主的な活動を促進する。</td></tr>
<tr><td>成　果</td><td colspan="5">様々な学習機会を提供することにより、各地域をよく知り、地域を担う人づくりが図られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業費
（千円）</td><td>Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>計</td></tr>
<tr><td>3,080</td><td>3,080</td><td>未定</td><td>未定</td><td>未定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">国県補助事業等の名称、補助率等</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
コミュニティセンター利用者数	H30 年度(2018)	R6 年度(2024)
	809,175 人	810,000 人

イ　その他

圏域が有する多彩な特性を生かすため、圏域の将来を担う人材育成・後継者育成や他圏域との共通した行政課題等に対する連携した取組を行い、圏域マネジメント能力の強化を図る。

【具体的な事業】

事業名	他圏域連携・交流推進事業			関係地域名	全地域	
事業概要	出雲圏域以外の圏域や地域との広域的な連携事業を実施する。					
成　果	共通した行政課題等について、各圏域が有する特徴的な資源や優位性を有効活用し取り組むことにより、広域圏全体の発展、活性化が図られる。					
事業費（千円）	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	計
	25,754	14,825	14,825	14,825	14,825	85,054
国県補助事業等の名称、補助率等						

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値	目標値
中海・宍道湖・大山圏域市長会等で実施するビジネスマッチング商談件数	H30 年(2018)	R6 年(2024)
	651 件	3,400 件 (R2-R6 年度の 5 年間)
中海・宍道湖・大山圏域での外国人観光客宿泊数（1 月～12 月の暦年での集計数）	H30 年(2018)	R6 年(2024)
	14 万 6 千人泊	45 万人泊
中海・宍道湖・大山圏域での国内観光客宿泊数（1 月～12 月の暦年での集計数）	H30 年(2018)	R6 年(2024)
	408 万人泊	430 万人泊
中海・宍道湖・大山圏域内への移住者数	H30 年(2018)	R6 年(2024)
	3,543 人	3,000 人／年の維持

出雲市定住自立圏共生ビジョン事業一覧

（1）生活機能の強化に係る政策分野

（事業費については、現時点のものであり、今後の見直し等のなかで金額や実施時期等が変更になる場合があります。）

ア 医療

（単位：千円）

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
1	第4条（1） ア（ア）	診療所事業	全地域	85,522	87,808	85,957	84,298	84,141	427,726	へき地医療対策費補助金	
2	第4条（1） ア（ア）	市立総合医療センター	全地域	3,188,000	3,328,000	3,265,000	3,283,000	3,306,000	16,370,000		事業費は病院事業3条予算（収益的支出）

イ 福祉

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
3	第4条（1） イ（ア）	シルバー人材センター運営費補助	全地域	13,336	13,336	13,336	13,336	13,336	66,680		
4	第4条（1） イ（ア）	高齢者クラブ連合会活動促進事業	全地域	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	90,500	島根県在宅福祉事業費補助金	
5	第4条（1） イ（イ）	障がい者相談支援事業	全地域	70,300	70,300	70,300	70,300	70,300	351,500	地域生活支援事業費等補助金	
6	第4条（1） イ（ウ）	子育て支援センター運営事業	全地域	50,275	50,183	50,183	50,275	50,183	251,099	子ども・子育て支援交付金ほか	
7	第4条（1） イ（ウ）	ファミリーサポートセンター運営事業	全地域	14,880	14,652	14,805	14,727	14,805	73,869	子ども・子育て支援交付金	
8	第4条（1） イ（ウ）	認可保育所施設整備費補助	全地域	329,071	116,648	未定	未定	未定	―	保育所等整備交付金ほか	

ウ 教育

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
9	第4条（1） ウ（ア）	不登校対策事業	全地域	72,910	72,298	71,930	71,249	71,221	359,608	教育支援センター等運営費交付金 子どもと親の相談員配置事業委託金	
10	第4条（1） ウ（イ）	科学館理科学習事業	全地域	36,564	36,534	36,444	27,745	25,222	162,509		
11	第4条（1） ウ（ウ）	出雲市青少年育成市民会議補助事業	全地域	5,362	5,362	5,362	5,362	5,362	26,810		
12	第4条（1） ウ（エ）	芸術文化振興事業	全地域	90,700	90,700	88,000	88,000	88,000	445,400		
13	第4条（1） ウ（オ）	島根大学医学部支援協議会への支援事業	全地域	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000		

エ 産業振興

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
14	第4条（1） エ（ア）	企業誘致促進事業	全地域	549,252	534,105	177,466	140,322	109,599	1,510,744		
15	第4条（1） エ（ア）	ふるさと融資貸付事業	全地域	未定	未定	未定	未定	未定	―		
16	第4条（1） エ（イ）	地域商業等支援事業	出雲・平田・大社・斐川地域	6,800	6,600	6,600	6,600	6,600	33,200	島根県地域商業等支援事業補助金	
17	第4条（1） エ（ウ）	新エネルギー推進事業	全地域	未定	未定	未定	未定	未定	―		
18	第4条（1） エ（エ）	重要文化財旧大社駅本屋保存修理事業	大社地域	93,000	313,000	313,000	137,000	0	856,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 島根県文化財保存事業費補助金	

19	第4条（1） エ（エ）	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡調査整備事業	多伎地域	9,000	5,000	20,000	20,000	9,000	63,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 史跡等総合整備活用推進事業費補助金	
20	第4条（1） エ（エ）	荒神谷遺跡整備改修事業	斐川地域	35,642	9,770	0	0	0	45,412	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	
21	第4条（1） エ（エ）	博物館展示研究事業及び管理費	全地域	87,133	85,231	86,676	86,596	86,107	431,743	地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	
22	第4条（1） エ（オ）	中山間地域等直接支払事業	全地域	109,000	109,000	109,000	109,000	109,000	545,000	中山間地域等直接支払交付金 中山間地域等直接支払推進交付金	
23	第4条（1） エ（オ）	多面的機能支払交付金	全地域	370,000	370,000	370,000	370,000	370,000	1,850,000	多面的機能支払交付金 多面的機能支払推進交付金	
24	第4条（1） エ（オ）	出雲農業未来の懸け橋事業	全地域	75,000	75,000	未定	未定	未定	－		JAしまね出雲地区本部・斐川地区本部が市負担額と同額を支出し事業運営
25	第4条（1） エ（オ）	新出雲農業チャレンジ事業	全地域	15,000	15,000	未定	未定	未定	－		
26	第4条（1） エ（オ）	アグリビジネススクール事業	全地域	1,714	1,627	1,714	1,627	1,714	8,396		
27	第4条（1） エ（オ）	森林病害虫等防除対策事業	全地域	45,600	57,000	39,100	25,200	69,900	236,800	森林病害虫等防除事業 保全松林健全化整備事業	
28	第4条（1） エ（オ）	21世紀出雲林業ﾌﾛﾝﾃｨｱ・ﾌｧｲﾃｨﾝｸﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ事業（林業3F事業）	全地域	7,600	7,600	未定	未定	未定	－		市、出雲地区森林組合、木材協会出雲支部が負担金支出し事業運営
29	第4条（1） エ（オ）	みんなでつくる出雲の森事業	全地域	5,210	5,210	未定	未定	未定	－		
30	第4条（1） エ（オ）	21世紀出雲水産業総合助成事業	全地域	18,000	18,000	未定	未定	未定	－		

オ ライフラインの整備

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
31	第4条（1） オ（ア）	水道施設耐震化事業	全地域	0	171,000	90,000	90,000	90,000	441,000	水道施設等耐震化事業	

（2）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
32	第4条（2） ア（ア）	一畑電車活性化事業	出雲・平田・大社地域	176,989	71,503	71,503	71,503	71,503	463,001		
33	第4条（2） ア（ア）	出雲市バス交通対策事業	全地域	233,238	235,947	226,508	243,977	225,168	1,164,838	県生活交通確保対策交付金	

イ デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
34	第4条（2） イ（ア）	移動通信鉄塔施設整備事業	全地域	40,000	未定	未定	未定	未定	－	移動通信鉄塔施設整備事業補助金	
35	第4条（2） イ（イ）	防災情報伝達システム整備事業	全地域	325,000	198,000	198,000	0	0	721,000		

ウ　道路等の交通インフラ整備

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
36	第4条（2）ウ（ア）	山陰自動車道関連道路等整備事業	出雲・多伎・湖陵地域	15,000	6,000	6,000	6,000	3,000	36,000		
37	第4条（2）ウ（イ）	県営事業負担（道路）	全地域	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	80,000		
38	第4条（2）ウ（ウ）	幹線市道及び他事業関連市道等の整備	全地域	997,500	948,600	888,600	842,200	757,200	4,434,100	社会資本整備総合交付金 防災・安全社会資本整備交付金	
39	第4条（2）ウ（ウ）	生活環境道路改良事業	全地域	762,000	758,400	762,100	702,600	683,800	3,668,900	社会資本整備総合交付金ほか	
40	第4条（2）ウ（ウ）	街路事業	出雲・大社地域	251,000	424,400	304,200	252,200	232,600	1,464,400	社会資本整備総合交付金 防災・安全社会資本整備交付金	

エ　地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
41	第4条（2）エ（ア）	地産地消推進事業	全地域	60	60	60	60	60	300		
42	第4条（2）エ（ア）	農林水産振興がんばる地域応援総合事業	全地域	42,000	42,000	33,000	33,000	33,000	183,000	新農林水産振興がんばる地域応援総合事業費補助金	

オ　地域内外の住民との交流・移住促進

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
43	第4条（2）オ（ア）	定住推進事業	全地域	51,536	53,036	3,150	2,947	2,422	113,091	市町村定住支援体制整備推進交付金	
44	第4条（2）オ（イ）	空き家バンク登録支援事業	全地域	2,000	2,000	未定	未定	未定	－	しまね定住推進住宅整備支援事業補助金	

（3）圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア　宣言中心市等における人材の育成

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
45	第4条（3）ア（ア）	ボランティア団体の育成・連携支援事業	全地域	600	600	600	600	600	3,000		
46	第4条（3）ア（ア）	市民協働推進事業	全地域	3,000	3,000	未定	未定	未定	－	協働のまちづくり事業助成金	
47	第4条（3）ア（ア）	コミュニティセンター整備事業	全地域	0	0	0	5,250	111,300	116,550		
48	第4条（3）ア（ア）	集落支援事業	全地域	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	115,000		
49	第4条（3）ア（イ）	生涯学習推進事業	全地域	3,080	3,080	未定	未定	未定	－		

イ　その他

	関連条項	事業名	関係地域	事業費						補助事業等	備考
				R2	R3	R4	R5	R6	計		
50	第4条（3）イ	他圏域連携・交流推進事業	全地域	25,754	14,825	14,825	14,825	14,825	85,054		

重要業績評価指標（KPI）一覧

具体的取組					
政策分野					
施策					
	重要業績評価指標（KPI）	現状値		目標値 ※5年間＝R2～R6	
（1） 生活機能の強化に係る取組					
イ 福祉					
（ウ） 子育て支援体制の充実					
	子育て支援センター利用者数	平成30年度	66,090人日	令和6年度	54,000人日
	ファミリーサポートセンター利用者数	平成30年度	6,142人日	令和6年度	6,270人日
	4月1日時点の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業施設の待機児童数	平成30年度	3人 （H30.4.1時点）	令和6年度	0人
ウ 教育					
（ア） 不登校に対する支援体制の充実・強化					
	不登校児童の割合	平成30年度	2.08%	令和6年度	1.98%
（エ） 芸術文化の振興					
	出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	平成30年度	11,360人	令和6年度	10,000人
（オ） 高等教育機関との連携					
	市内大学・専門学校在学生数	令和元年度	1,825人 （H31.4.1時点）	令和6年度	2,000人
	島根大学、島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	令和元年度	114件	令和6年度	130件
エ 産業振興					
（ア） 企業誘致					
	製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	平成30年度	33件 （H26-H30の累計）	令和6年度	30件（5年間）
（エ） 観光振興					
	観光入込客数（1月～12月の暦年）	平成30年	1,162万人	令和6年	1,200万人
	宿泊者数（1月～12月の暦年）	平成30年	74.7万人泊	令和6年	100万人泊
	外国人宿泊客数（1月～12月の暦年）	平成30年	7,875人泊	令和6年	20,000人泊
（オ） 農林水産業の振興					
	認定新規就農者数	平成30年度	4.8人 （H26-H30の平均）	令和6年度	7人増（対前年度）
	集約した施業団地数	平成30年度	―	令和6年度	5団地（5年間）
（2） 結びつきやネットワークの強化に係る取組					
イ デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備					
（イ）防災ネットワークの構築					
	防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者（世帯）数	平成30年度	17,664人・世帯	令和6年度	48,000人・世帯
ウ 道路等の交通インフラ整備					
（ア） 高速道路等の整備促進					
	山陰自動車道「出雲・湖陵道路」進捗率	平成30年度	69%	令和6年度	100%
	山陰自動車道「湖陵・多伎道路」進捗率	平成30年度	48%	令和6年度	100%

具体的取組					
政策分野					
施策					
重要業績評価指標(KPI)		現状値		目標値 ※5年間＝R2～R6	
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る取組					
エ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消					
(ア) 農水商工連携による地産地消の推進					
学校給食地産地消率	平成30年度	60.0%	令和6年度	63.0%	
「出雲推奨商品-おいしい出雲-」認定数	令和元年度	162商品	令和6年度	180商品	
オ 地域内外の住民との交流・移住促進					
(ア) 定住施策の充実					
UIターン就職支援窓口相談者数(年間延べ人数)	平成30年度	444人	令和6年度	500人	
女性のUIターン支援助成事業によるUIターン者数	平成30年度	49人 (H27-H30の累計)	令和6年度	50人(5年間)	
移住促進住まいづくり助成事業による助成件数	平成30年度	―	令和6年度	10件／年	
子育て世帯・新婚世帯のUIターン支援(いずもで新生活応援事業)による助成件数	平成30年度	―	令和6年度	35件／年	
(イ)空き家の利活用					
空き家バンク登録物件数	平成30年度	110件 (H26-H30の累計)	令和6年度	150件(5年間)	
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組					
ア 宣言中心市等における人材の育成					
(ア) 市民協働の推進					
市民協働事業の補助対象事業採択数	平成30年度	5件	令和6年度	6件／年	
コミュニティセンター利用者数	平成30年度	809,175人	令和6年度	810,000人	
(イ) 生涯学習の推進					
コミュニティセンター利用者数	平成30年度	809,175人	令和6年度	810,000人	
イ その他					
中海・宍道湖・大山圏域市長会等で実施するビジネスマッチング商談件数	平成30年度	651件	令和6年度	3,400件 (5年間)	
中海・宍道湖・大山圏域での外国人観光客宿泊数(1月～12月の暦年)	平成30年	14万6千人泊	令和6年	45万人泊	
中海・宍道湖・大山圏域での国内観光客宿泊数(1月～12月の暦年)	平成30年	408万人泊	令和6年	430万人泊	
中海・宍道湖・大山圏域内への移住者数	平成30年度	3,543人	令和6年度	3,000人／年の維持	

■出雲市定住自立圏共生ビジョン策定経過

平成２２年	３月２３日	中心市宣言
平成２２年	６月２５日	出雲市定住自立圏形成方針の議決
平成２２年１１月１１日		第1回圏域共生ビジョン懇談会（共生ビジョン原案の検討）
平成２２年１１月２２日		第2回圏域共生ビジョン懇談会（共生ビジョン原案の検討）
平成２２年１２月	３日	出雲市定住自立圏共生ビジョン（平成22～26年度）の策定
平成２３年１０月	１日	出雲市と斐川町の合併
平成２３年１１月１４日		第3回圏域共生ビジョン懇談会（共生ビジョン変更案の検討）
平成２３年１２月２２日		定住自立圏形成方針の変更についての議決
平成２３年１２月２６日		定住自立圏共生ビジョン（平成22～26年度）の変更
平成２５年１２月２４日		第4回圏域共生ビジョン懇談会（共生ビジョン変更案の検討）
平成２５年１２月２６日		定住自立圏共生ビジョン（平成22～26年度）の変更
平成２６年１２月１９日		第5回圏域共生ビジョン懇談会（共生ビジョン原案の検討）
平成２７年	１月２０日	定住自立圏共生ビジョン（平成27～31年度）の策定
平成２９年	３月２８日	定住自立圏共生ビジョン（平成27～31年度）の変更
平成３０年	３月２０日	定住自立圏共生ビジョン（平成27～31年度）の変更
平成３１年	３月１５日	定住自立圏共生ビジョン（平成27～31年度）の変更
令和　２年	２月　７日	圏域共生ビジョン懇談会（共生ビジョン案の検討）
令和　２年	３月１７日	定住自立圏共生ビジョン（令和2～6年度）の策定
令和　４年	３月２５日	定住自立圏共生ビジョン（令和2～6年度）の変更

圏域共生ビジョン懇談会委員名簿

（敬称略）

委員名	組織・所属等
伊藤　　栄	出雲市自治会連合会副会長
伊藤　信二	山陰合同銀行出雲支店支店長
糸賀　　巧	重本税理士事務所
糸原　直彦	出雲商工会議所専務理事
稲根　克也	出雲観光協会事務局長
岡田　達文	ＪＡしまね出雲地区本部常務理事本部長
金田つばさ	結婚相談所 Lucky＊Post マリッジアドバイザー
久野みちる	出雲市男女共同参画センターマネジャー
佐貫　　守	出雲市うみ・やま（中山間地域）応援センター地域支援員
高須　佳奈	島根大学地域未来協創本部講師
高橋　恵美子	島根県立大学出雲キャンパス准教授
舟越　幹洋	山陰中央新報社出雲総局総局長
堀西　雅亮	ＮＰＯ法人エスペランサ理事
松尾　由美子	連合島根出雲・雲南地域協議会出雲地区会議副事務局長
松田　岳士	出雲青年会議所直前理事長
宮本　　享	出雲市議会総務委員長
山田　　誠	ハローワーク出雲所長
吉田　彰二	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校学校長

〔令和２年２月７日開催時点〕